

令和6年度
介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間 6月18日～11月25日



～私たちは介護のプロを応援します～

（公財）介護労働安定センター
鳥取支部



掲載している写真・氏名等の個人情報につきましては、予めご本人の承諾を得て掲載しています。

修了おめでとうございます



修了者へ贈る言葉

令和6年度介護労働講習（実務者研修を含む）の19名の受講者の皆様、修了まことに
おめでとうございます。不安と期待で混沌とした6月18日の開講式に始まり、山あり谷あり
の105日間の長期にわたるこの講習でしたが、受講者の皆様はそれぞれの目標に向けて、
最後まで明るく粘り強く受講され、無事修了の日を迎えられました。

修了式での皆さま一人ひとりのスピーチは、共に学んだ仲間への思い、今後の抱負や不安、
お世話になった周りの方々への感謝の言葉にあふれており、心揺さぶられました。

さて、これから皆さんは自分の意志で選んだ介護の現場で、6か月間での学びを土台に、
利用者様の笑顔のために尽力されることと思います。

そんな皆さんに鳥取支部職員一同から、はなむけの言葉を贈ります。

“Bloom where God has planted you.”（置かれた場所で咲きなさい）。これは、その場所
で我慢しなさいという意味ではなく、「自分がいる場所を受け入れて最善を尽くす」という
姿勢を意味しており、「それが自分を幸せにし、そのことが自分の周りの人も幸せにするこ
とに繋がる」という意味です。

19人19色の素敵な花が咲くことを心より信じております。

鳥取支部職員一同

講習風景

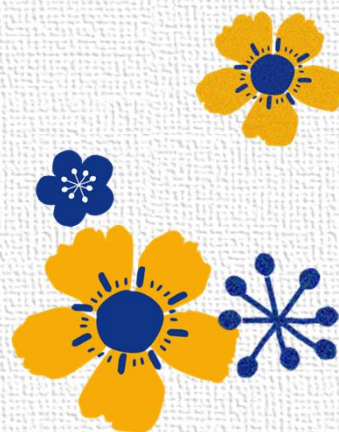
開講式



レクリエーション



医療的ケア演習



講習風景

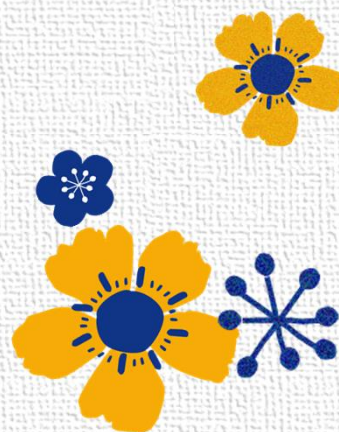
介護過程Ⅲ 実技



就職ガイダンス



施設見学



講習を終えて

今年は19名が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

先が長いなと思っていた講習ですが、終わってみれば短かったなと感じました。通った日々は学生に戻ったようで、覚えることが多くて大変でしたが、いろいろな年代の皆さんと、仲良く楽しく過ごすことができました。私は当初考えていた職種とは違う道に進みますが、この講習で学んだことを活かしていきたいと思っています。

今まで事務の経験しかなく、何か手に職をつけたいと思い、この講習を受講させていただきました。講習では自分に足りない知識・技術・コミュニケーション能力など様々なことを教えていただきました。また、皆で乗り切ったカリキュラムは本当に良い経験と思い出になりましたし、一人では乗り越えられなかったように思います。

講習が始まった当初、生後間もない子どもを育てながら訓練を受けたり、試験や演習の授業をこなしていけるのだろうかと不安でいっぱいでした。しかし、講師の方の授業もわかりやすく、仲間と一緒に勉強したり、わからないところを教え合ったり、励まし合いながら授業を受けて無事修了することができ、自信にもつながりました。

この半年間、厚いテキスト数冊に書かれている内容を読もう読もうと自分の生活時間を調整してきました。授業を受けるだけでなく、評価試験等目標に向かって努力するリズムが作れました。一人でも黙々と練習をする姿に触れ、自分も頑張ろうと思えました。20代から60代まで、互いを認め合いながら学ぶことができ、充実した月日を過ごせました。

最初は自分とは全く縁がない職種と思っていた介護に足を踏み入れて学び始めました。人と関わるのが好きで、誰かのためになる仕事がしたいと考えて申し込みましたが、わからないことだらけで、自分が介護をしていくイメージがつかめず不安がありました。しかし、ほかの受講者さんが助けてくれて、なんとか修了、就職することができました。

毎日通うことが楽しい6カ月でしたが、一番思い出に残っているのは医療的ケアです。初めて目にした器具に戸惑いながら居残り練習をし、「ここが違うよ」「もう少しこうしたらいいんじゃない?」と、お互い協力し、合格すると自分のことのように嬉しく思い、抱き合って「よかったね～」と話したりし、かけがえのない仲間ができました。



就職先を訪ねて



川居 大樹 さん

令和3年度修了者



介護労働講習で学んだ知識や技術が、現在の仕事にどのように生かされていますか？

介護労働講習で学んだこと全てが役立っています。私は未経験から福祉の世界に入りましたが、基本を理解した状態で福祉の仕事を始めることができたのは非常に良かったと思います。特に個別支援計画書の作成では、そう実感しました。担当利用者様を日々アセスメントし、その方の障がい特性を理解した上で支援計画書を作成していくことは、非常に難しくまた重要であるのですが、受講していたことで作成していく手順や注意点を思い出しながら取り組むことができました。

また、ベッドや車いすの移乗や脱健着患など支援に繋がる内容を学べたことで、ある程度イメージして現場に入ることができたので心強かったです。

実際に介護の仕事に就かれた感想は？

利用者様のことを考えて日々支援・業務に向かい合っていけることが一番の喜びであり、本当にやりがいのある職種であると思います。そして、皆で協力して支援することが利用者さんの日々の活動や生活に繋がっていくので、チームワークが何よりも重要です。利用者さんの特性に合わせてより良い支援を構築し実践していくことを目標に、日々勉強だと思って支援・業務に向き合っています。

これから受講される方へメッセージをお願いします

これから受講される方は、「6カ月間のカリキュラムを修了できるのか」と不安になられていると思います。未経験の方なら特にそう思われているでしょう。ですが、大丈夫！講師のお話をしっかり聞いて学ぶ気持ちを忘れなければ、必ず修了できます。私自身もそうでした。頑張った分は必ず身につき、スキルアップに繋がります。頑張ってください！

事業主さまから一言

障害者支援施設 羽合ひかり園
園長 三浦 英樹 様

普段の仕事ぶりはいかがですか？

第一印象通りの真面目な性格です。支援にも一生懸命取り組んでおり、3年目ですが、川居さんが担当する部署の副リーダーを担っています。福祉の経験はまだ短いですが、逆に物事を新鮮な視点で見ることができると感じます。気づいたことはどんどん発信していったらいいと思います。

これから受講される方へメッセージをお願いします

福祉業界が人材不足のなか、異業種からの方を即戦力に育成してもらえることは、非常にありがたいことです。福祉のお仕事はマイナスイメージを持たれることもありますが、利用者の言葉や表情、また、ご家族とのやり取りの中で、非常にやりがいを感じる職種だと思います。必ず必要とされる職種なので、是非頑張ってください。一緒に働けることをお待ちしております。